

栄養失調を除くには

保健所及川柴田両女史に聴く

食糧管理倉庫の米俵も拂出す一方最近更に心細くなり既に市内の一部にはドンブリ粉や大豆粉の差配給が始まり、各家庭のお蔵所でも二合一勺のお米の計量に異變を来たしたと聞かせる。この深刻になりつつある食糧事情を栄養の面から見てどう切抜けたら良いか、栄養失調を如何に防がかを保健所栄養士の及川小浪さんと柴田佳代子さんに聴いて見る。

蛙、昆虫の食用化も

現在ではカロリー不足 米なら三合三勺が必要

普通日本人の成人で一日に必要な主食で如何に副食物を選ぶとする数量は二四百カロリーにあり、カロリー(熱量)の点で現在の二合一勺では全部お米から見れば不足な量まで、どうしても千五百カロリーで副食物がないが努めて熱量の高いものを加へても尚足りない有様だ、例へば地方で樂に入手出来るお石城地方の家庭の食糧を見ると魚が一番良い然し經濟面から見ると山魚村で平均二千五百カロリー、それをばかりに依存出来ない、相場の様、これを理想のカロリーとして、山魚や海魚等手當り次第調、いまで高めるとすればお米だけだ、山魚等は消化が悪いから粉で三合三勺(千六百七五カロリー)食にして喰べれば有効比較的に必要とされ不足分は副食物で植物性より動物性食物の方が充分揃れるから二千四百カロリー、化吸収とカロリー共に高いから一程度は完全に補給出来る計算、昆蟲や蛙等の食用化も面白いことになる、然しそれは現在の食糧有効な事情では絶対望み得ないから聞

配給油は計画的に

ビタミン剤服用は中毒する

一般家庭では三大要素とビタミン、特に心配してビタミンとを混同して考へてゐる様だが、油を一種の中毒薬に罹るはつきり區別して考へて欲しい、こともある、蛋白質は豆類、味三大要素は改めて申すまでもなく、油は多くお魚なら一番良い、含人体には絶対欠くことの出来な炭素は穀物に多く脂肪は食用でないもので例をとれば、丁度三大油に一番多いが今一番欠乏して要素を家屋の柱や板例へてビタミン、木の質や胡麻、脂肪、ミネは釘のやうなもの、機械に多いお肉など一度に喰へず特殊例れば潤滑油の役割で所謂人体に配給油は計画的に少量づつ、有に活力を興へる活案である、だ効に使つて欲しい

調理を

カレー粉で
調理を
調理粉の喰へ方

開放

女學生さんへ

女學生の政治教育に警域高女では時局解説の時間を毎週水曜日毎に學紙毎に開き社會一般について先生方の指導で研究する、平女子商では文化、經濟の兩研究班を結成新聞記事を教

就業希望調査

御注意を

本市では来る十五日の就業希望調査に於いて十日午前九時から公會堂日本間に調査打合せを開いたが次の諸点について市民へ徹底するやう回覧板を通じ御掛

「かび」

劉羽寧

微と云ふ題は何となく谷崎潤一郎らぬと云ふ様な現象になつて、微の題名だが、茲で述べてあらわされた。微は文學的ではなくとも、附いて國が腐つて人民がかびをかびと云ふ譯業、これは全く偉大な働きをする、良い部門にも話である、だがかびと云ふ悪い部門にもこの事は適應するのはいづかしの生活から切つても、悠々二千數百年の歴史ある切れないながりが有る、毎日日本國家を無條件降伏の結果で、食物は一升三百圓のマルヤミ價潰滅させたものかびである、物だ、一升三百圓のマルヤミ價、曰くサーベルを下げたかび、格の酒もかびの産物で有る、何曰く隊の如く私利私腹に肥つた、はかばかかびのおかけで有る、斯う考へて見るとかびと云ふ、さむら權も何がかびに分らない米世的、有ると断ぜざるを得ない、いや、現象に逆持つて來て了つたので、有ると断ぜざるを得ない、いや、ある、誠にわけがわしいやら、まだ有る、まだ有るチャーチル惜ないやら、何でこんなかびが、將介石もかびに生命を助け生へて了つたのだらう否、こんななれた事がある、曰く近時流行のかびが生へる運入々は分らないか、ペニンリン、が有る之もやつたのだらうか、かびを研究すばりかびだ、かびのお蔭で、煎る醫師も藥劑師も精製濾過だかじつめるとかびに生命を助けられたのかかびは手が届かなかつた、かびを喰つてゐたのかかびは、其の結果が、日本人を助ける役目になつた、我々は種々な難問にぶつつか、事になる、又々迷論が出て來る、行進の一手手前まで來て了つた、少くも此處から、ペニンリンをかびの生へたものでも喰はすに、一九二八年、ロンドン大學のマリ

材に勉強する、平高女は讀書會をえ方が在り方が若しも正しくな務が伴つてゐる決して無軌道な前夜である、ユリエの父をやる等々なか、盛んとある、徒らに現在の如く自由を口ことは許されないのである常に、新日本建設の良き母となしなから自由を解せず又男女自己の資務と本分を忘却せず、又他人に迷惑を及ぼさぬことをなかつた。無意味な、平凡な、寂しい生活に悩み疲れ、神經が、斯くすれば學校歸りに活動館へ飛び込んだり、他の迷惑を無理して列車の昇降口に多勢身を投げかけた。ヤン屹驚して立ち塞がるやうなことはなく、眼を見張つた。彼は最初、從僕といふ意識に心の中を占められてゐたが、その意識は失はれ、本能的性的目覺めを感じて來た。そこで彼は嬉笑しながら遂にユリエを汚すに至る。さうかうしてゐる中に父伯が歸つて來る。鈴が鳴る。ヤン再びもとの從僕にかへる。ユリエは一番強い意志に抵抗出來ずして遂に自殺する。(瑞のウグスト・ストロンドベルヒの作)

ユリエは神經病的な女性である。彼女は貴族の青年と許嫁の仲だつたが、その婚約を破つてしまつた。それは聖ジョ

セメント瓦製造
御注文に應ず
御持の方交換も致します
(在庫豊富)
大浦村上仁井田
合名會社 東京工業社
仁井田工場
工場主 大谷文夫
御注文の際、御一報下さい
係員 參上 致す

文化リヤーカー
一號型五四〇〇〇
二號型四九〇〇〇
一號型一五〇〇〇
右欄約に應じます。現品陳列、御申込下さい
市田町一 電話三一八番
磐城物産株式會社
平市通小路一〇
松屋商店
(SP商會 電話五八番)

戀文選
概梗
編みつか
ユリエ